

| | |
|------|----------|
| 総事業費 | 2,675 千円 |
| 交付金額 | 1,337 千円 |

地域の実情と課題

・女性相談事業では、コロナ禍の影響を受け相談希望者が増加し、予約が取りづらい状況が続いているため、新規相談者への対応は困難であり、早期的な解決まで至っていない。

・啓発イベント等については、従来より若年層の参加が少ない状況であるが、コロナ禍において、子育てや健康等の課題が顕著に表れる若年層の女性が、同じ悩みを打ち明けられる状況の改善に至っていない。

目的・目標

コロナ禍で女性の困難が顕在化し、新たな課題への対応が求められている。DV防止の必要性の増加や、いわゆる「生理の貧困」など、社会との絆・つながりが薄くなり不安を抱える女性や、寄り添った支援が必要にも関わらず支援が届いていない女性の課題を、早期に発見し、女性が自ら解決できるように支援することが必要である。

【目標】

電話相談件数(アウトプット) : 150件

講座参加者の満足度(アウトカム) : 80%以上

事業の特徴

・河内長野市人権協会に委託することにより、当協会の構成団体と連携した周知、広報や、協会の持つ様々な活動における知見やノウハウを活用し、効果的に課題解決を図る。

・電話による女性相談事業を実施することにより、相談者への早期対応が図られ、適切な支援へとつなげる。

・居場所づくり(講座形式)を開催することにより、同じ悩みをもつ女性同士のつながりを生み、子育てや健康等における課題の解決につなげる。

連携団体

・市内関係各課

⇒女性の持つ様々な課題や不安等の解消に向けた支援の連携、情報共有、事業周知(広報紙・ポスター・チラシ・SNS等での周知等)

・子ども子育て課、市立子ども子育て総合センター等

⇒女性の持つ様々な課題や不安の解消に向けた居場所づくり(講座形式)の開催等

事業の効果

○女性相談事業

・自宅から気軽に電話で相談を受けられる体制を整備することで、潜在的なニーズを掘り起こし、相談者への早期対応が図られ、女性の様々な課題や不安等の解決につなげることができた。

○居場所づくり(講座形式)事業

・ワークショップ形式の講座を4回開催し、同じ悩みをもつ女性同士の交流により社会とのつながりを回復することで、様々な課題に直面する女性を課題や不安等の解決へと導いた。

○生理用品の配布

・それぞれの事業において、生理用品(相談支援先等の案内文書やパンフレットを同時配布する)の提供を行うことで、必要な相談先や支援先につなげることができた。

【実績】

電話相談件数(アウトプット) : 29件

講座参加者の満足度(アウトカム) : 94%

今後の課題

・潜在的な悩みや不安を抱えている女性同士の思いの共有や情報交換などの機会提供の充実を図るとともに、参加者の潜在的課題等を相談事業につなげるための積極的なアウトリーチ型の相談体制の推進が必要である。

・孤独や困難を抱える女性が必要とするニーズを把握するとともに、支援が必要な女性に対する継続的な支援を提供できる体制を整備する必要がある。

事業の概要

女性相談つながりサポート事業【河内長野市】

女性のための電話相談事業

- ・専門のカウンセラー(1名)による電話相談を月4回(第1・3月曜日、第2・4木曜日)実施した。
- ・上記の相談日に加えて、「女性に対する暴力をなくす運動(11月12日から25日)」及び「国際女性デー(3月8日)」に合わせた合計8日間の特設相談会を実施した。
- ・来庁が困難な方でも自宅から気軽に電話で相談を受けられる体制を整備した。
- ・継続的なサポートが必要な場合、従来から実施している「女性相談」につなげた。
- ・相談内容に合わせて、庁内外の適切な相談先・支援先などにつなげた。



居場所づくり(講座形式)事業 (おしゃべり会 in 女性のためのつながりサポート河内長野)

- ・女性の課題の中から子育てや健康等に関するテーマを取り上げ居場所づくり(講座形式)を実施した。
- ・同じ悩みをもつ女性同士が共に学び、語り合い、つながる場所を創設した。
- ・子育て部局等の関係機関と連携して居場所づくり(講座形式)を実施した。
- ・支援が必要な場合、庁内外の適切な相談先・支援先などにつなげた。
- ・子育て世代の参加を促進するため、一時保育を実施した。



生理用品の配布

- ・それぞれの事業において、生理用品(相談支援先等の案内文書やパンフレットを同時配布する)の提供を行い必要な支援につなげた。